

◆ 普通救命講習Ⅱ

到達目標	1. 心肺蘇生法(主に成人を対象)を、救急車が現場到着するまでできる。
	2. 自動体外式除細動器(AED)について理解し、正しく使用できる。
	3. 異物除去法及び大出血時の止血法を理解できる。

項目		細目	時間	
応急手当の重要性		応急手当の目的・必要性	4時間	
救命に必要な応急手当(主に成人に対する方法)	心肺蘇生法	基本的な心肺蘇生法(実技)		反応の確認、通報
				胸骨圧迫要領
				気道確保要領
				口対口人工呼吸法
				シナリオに対応した心肺蘇生法
	AEDの使用法	AEDの使用法		
		使用法の呈示		
		AEDの実技要領		
	異物除去法	異物除去要領		
	効果確認	心肺蘇生法の効果確認		
止血法	直接圧迫止血法			
心肺蘇生法に関する知識の確認(筆記試験)	知識の確認			
心肺蘇生法に関する実技の評価(実技試験)	シナリオを使用した実技の評価			

修了証例

(表)

普通救命講習修了証 第 号

氏名 ○ ○ ○ ○

上記の者は、普通救命講習Ⅱを修了し、救命技能を有することを認定します。

年 月 日

○ ○ 消防本部  
消 防 長 ○ ○ ○ ○ 印

(裏)



普通救命講習修了証

○ ○ 消防本部

再講習受講の記録(救命技能を忘れることなく維持向上させるため、2年から3年間で定期的に講習を受けてください。)

平成 . . . 受講 印 平成 . . . 受講 印